

2022年11月24日

弘前大学附属病院長
大山 力 殿

弘前大学職員組合執行委員長
永瀬 範明

団体交渉申し入れ書

弘前大学職員組合では、2022年9月に弘前大学附属病院で働く看護師約650名、技師約140名を対象としたアンケート調査を行い、看護師141名、技師52名の方々から回答をいただきました。多数の職員が要望している事例等、下記項目につき団体交渉を申し入れます。

【看護部への要望】

1. 年休をとりやすい環境にしてください

・年休を週休に振り替えることを極力やめてください

アンケートによると、80%を超える看護師が年次休暇を10日以上残しています。また、年休を希望した日を週休とされ、希望の日に休みは取得できるものの年次休暇か週休か選べないという部署があるようです。年休の申請は年休として、気持ちよく休めるよう、労働環境を整えてください。

・年休は気持ちよくとれるようにしてください

年休の申請に際し、嫌味を言ったり嫌な顔をしたりする、なぜ休むのか説明を求めるといった師長がいる部署があるようです。年休の取得は、著しく業務に支障が出ない限り、労働者の権利として認めなければならない、また基本的に理由を述べる必要はないと労働法で定められていることを、師長に周知徹底してください。

2. 作業効率を鑑み、業務の見直しを行ってください

看護師数が法定人数を満たしているにも関わらず現場が忙しく余裕がないのは、仕事の絶対量が多いのに加え作業効率が悪いからであるという訴えが多くみられました。例えば、紙ベースの作業が多い、電子カルテシステムで使用しているパソコンの立ち上がりが遅く仕事の効率を低下させる、そのシステムが更新されるためますます使いにくくなっている、等の意見があります。現場の状況を調査し、効率よく仕事できるよう改善してください。

3. 夜勤が一部に集中する現状を改善してください

アンケートで今年8月の夜勤回数を尋ねたところ、38%が「月5回以上」と回答しました。また、これまで最も多かった夜勤回数を尋ねたところ、「月10回以上」が9人、16回と回答した人もいました。夜勤が多く健康被害が出たことがあるか尋ねた設問には、32%が「ある」と回答しています。

夜勤の回数が多い、同じ曜日に偏っている、勤務年数が少ない同士で組むことがあり不安、間隔が短い等の意見があります。現場の状況を調査し、過重労働に配慮してください。

4. 育休明けの職場復帰に際する配慮を徹底してください

育休明けの職場復帰の際、「夜勤のない部署」へ異動する措置をとられる場合が多いようですが、それだけだと慣れない業務がこなせず職務継続困難に陥るという意見があります。看護師の結婚、出産、育休は、一定数必ず起こることですので、子どもを生んでも働き続けられるよう、夜勤以外にも配慮をしてください。

5. 早出や残業の実態を調査し、該当する賃金を払ってください

アンケートによると早出が暗黙のルールになっている部署があります。また、早出に関しては超勤手当の申請ができにくい状況にあります。早出及び残業の実態を調査し、実態に応じて超勤手当を支払ってください。

尚、超勤手当が支払われていない業務として、「白衣への着替えの時間」と回答した人が29.2%ありました。申し送り等の「情報収集」は69.9%が勤務時間外に行われていると回答しています。特に、着替えの時間については超過勤務手当を支給してください。

6、看護師長へ、労働法の「管理職研修」を行ってください

アンケートによると、年休や超過勤務の申請に対して部署ごとに看護師長の対応の格差があるようです。労働法違反ではないかという対応、ハラスメントを疑われる対応を訴えた記述もみられました。看護師長への管理職研修に労働法の学習を位置付けるなど、指導を行ってください。

【技師部への要望】

1、早出や残業の実態を調査し、該当する賃金を払ってください

アンケートによると、リハビリテーション部では、毎朝8時10分頃に集合し、3分~5分のミーティングが行われているようです。ミーティングは勤務時間内に行うように指導してください。始業前に行う必要がある場合には、ミーティングの時間から始業時間までの超勤手当を支給してください。

2、超勤手当の申請のしかたに問題があります。是正してください

アンケートによると、リハビリテーション部では、超過勤務は30分単位でつけるということになっているようです。これでは労働時間を切り捨てることになります。直ちに是正してください。

3、勤務時間内休憩時間を保障してください

アンケートによると、リハビリテーション部所属と回答した12人全員が、カルテの入力やサマリーの作成のため、ほぼ毎日、昼休みがとれない状態になっています。例えば、リハビリテーションの実施時間の制限、外来と入院担当を分離する等の声が寄せられています。業務時間内休憩時間を休めるよう、勤務条件の改善をしてください。

また、リハビリテーション部では、終業後新患が送られてくることがあるので、診療が全て終わるまで帰宅できないという状況があるようです。今年8月の残業時間が、20時間~29時間が2名、30時間~39時間が3名、40時間1名、50時間1名という実態です。終業時間後は新規患者を送らないようにする等の対案が寄せられています。業務改善してください。

【本町地区職員駐車場拡充の要望】

1、本町キャンパスに勤務する職員のための立体駐車場建設を要望します

本町駐車場が狭隘であり、車を停められなくて困っているという声が多く寄せられています。本年1月に「既存の駐車場の立体駐車場化」を検討したいとご回答をいただきました件につき、進捗状況をお聞かせください。立体駐車場の建設に早期に取り組んでいただけますよう要望します。

2、今年の冬に向け、駐車場を拡充してください

今年の冬が目前に迫っており、狭い駐車場が雪によって更に狭くなり、駐車できないという事態が再び多く起こることが予想されます。朝は、附属病院付近の道路も混雑し、何か所も駐車場所を廻っているうちに始業時間が迫るというのが、本町に出勤する多くの職員の多大なストレスになっていることが、アンケートからも伺えます。①朝、出勤が集中する時間帯に駐車場に誘導員を配置し、スムーズ駐車できる体制を確保してください。②駐車場のスペースを示すラインについて、雪が降ってもわかるようにしてください。③駐車場スペースに空きがなくやむを得ずコインパーキングを利用した場合の利用料について、払い戻しを受けられるようにしてください。

以上